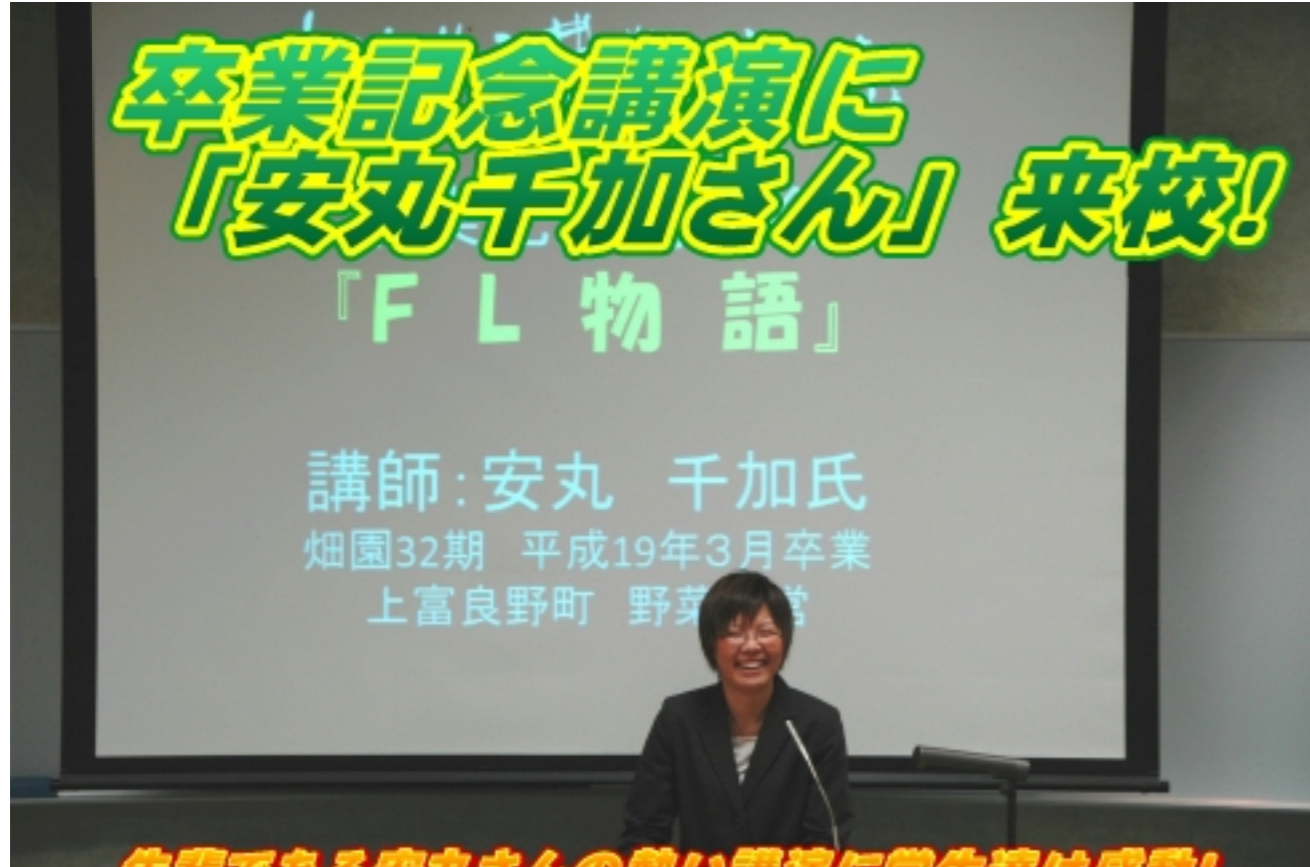


# Campus通信 NO.37



先輩である安丸さんの熱い講演に学生達は感動!



農業大学校では、活躍する先輩をお招きし卒業記念講演会を開催しており、今年は、畑作園芸経営学科32期生(平成18年度卒)、上富良野町でメロンなどの栽培をされている安丸 千加さんを講師にお招きしました。安丸さんは自家の経営に携わる傍ら、直売店"安菜"を開設され80品目以上を栽培しています。また「就農して感じた自分の想い」を全国青年農業者会議で意見発表し、最高位である農林水産大臣賞を受賞。その後、ますます人とのつながりやネットワークの重要性などを実際に感じ、現在では全国農業青年クラブ連絡協議会副会長や北海道の若手女性ネットワークとして立ち上げた「はらべ娘」の代表として全国・世界規模で活躍されています。

講演では、卒業生に向け「農業者を育てるために3つのお願い」がありました。

- 1 常に常識を疑ってほしい
- 2 時間が無い 忙しいと言い訳しないでほしい
- 3 女性に優しくしてほしい

講演を聞いた卒業生は、『先輩の一生懸命さに大変胸を打たれた。自分も頑張っていきたい』など、卒業後の活躍を誓っていました。

## 平成25年度 プロジェクト発表会

### 畜産経営学科

課題名「牛と人をつなぐ」

畜産経営学科2年 角川 桃 和田 望美



私達は、近年社会から疎遠となっている酪農という産業を、次世代を担う子どもたちに伝えたいという思いでこのプロジェクトを進めてきました。小学校と協力したり、イベントに参加して子どもたちと直接かわり活動しました。このことで少しでも酪農の魅力が伝わったのではないかと思います。これからも農大でこのような活動を続けて頂けると嬉しいです。

### 畑作園芸経営学科

課題名『たまねぎの球肥大への栽培方法の確立  
~有力な一手間を探して~』

畑作園芸経営学科2年 吉村 諄郎

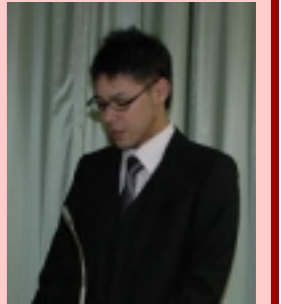


玉葱は野菜の中では機械化が進んでおり、作りやすく、収益性も高い作物ですが、単価が変動したり、気候により生育不良がでたり、不安定な栽培でした。そこで、育苗時にリン酸を苗床に散布することで、初期生育を良くし、球の大型化と安定栽培を狙いとした、プロジェクトを岩手で行われた、東日本プロジェクト発表会で発表してきました。どの発表も素晴らしく、入選はかないませんでした。去年に引き続き東日本大会に行けて、貴重な経験ができたと思っています。これも、1年共に実習を頑張った仲間と、協力してくれた職員の方々のおかげです。この経験を糧に、来年からの営農に活かしていこうと思います。

### 農業経営研究科

課題名『新規就農に向けての酪農修行』

農業経営研究科2年 荻原宙知ガブリエル



将来酪農家の夢を果たすため、様々な牧場で実習視察を行いました。実習を通して目指すべき酪農経営の姿が明確となり、酪農作業も「牛の目線に立って」考える重要性を知ることができました。今後も「能力の高い健康な牛を作る」をコンセプトに酪農家を目指して勉強していきたいです。

この課題は、東日本農業大学校等協議会プロジェクト発表会・交換大会研究課程で優秀賞を受賞。また、東京で行われた全国大会にて発表し、「農業大学校同窓会全国連盟賞」を受賞しました。

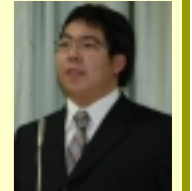
## 意見発表及び総合実習 I

### 意見発表

課題名 『また一から酪農を始めるために』 畜産経営学科1年 清原 優威

課題名 『自分の意識』 畑作園芸経営学科1年 永江 友大

東日本農業大学校等協議会プロジェクト発表会・交換大会で発表を行いました。



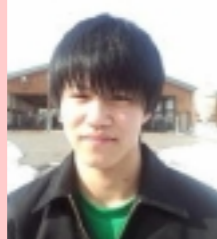
### 総合実習報告

課題名 『花卉の新規導入の検討』 農業経営研究科1年 細川 雄亮

細川君は、北海道青年農業者会議で発表を行いました。

# 2013を振り返って

1年間を振り返って  
畜産経営学科1学年  
小西勇生（安平町出身）

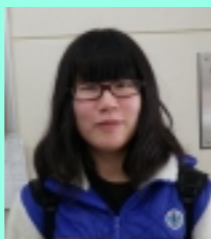


農大に入学して早いもので1年も終わりを迎えました。

入学当初は同級生や先輩方との寮生活がうまくやっていたか心配でしたが、授業や放課後など一緒に生活していく中で多くの人と仲良くなることができ、楽しい寮生活を過ごすことができました。実習では、機械を使った作業や詳しい畜産に関する勉強をしたり、不慣れな搾乳、畜舎当番、朝のアルバイト、1か月間の農家実習など、生活も大変で慣れるまで時間がかかりました。

しかし今は農大での生活にも慣れたたくさんの技術や知識を身に付けることができました。2年生では人工授精師の免許などの取得のために1年の時よりもっと頑張りたいです。プロジェクトも2年生になったら本格的に始まるので一生懸命頑張りたいです。残り最後の1年間はもっと集中して友達とたくさんの思い出を作りたいと思います。

農大で過ごした1年間と今後  
畑作園芸経営学科1学年  
小松遥香（釧路市出身）

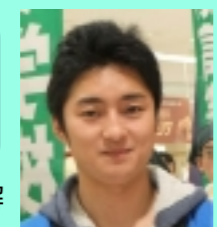


農大に入学して、1年が経とうとしています。入学当初、周りには知らない人ばかり、初めての寮生活、全く知らない農業の勉強と、色々な不安がありました。クラスメートは、優しい人が多く思っていたよりも早く馴染む事が出来ました。

初めての寮生活も友達に恵まれて楽しい日々を過ごしています。

実習は主に先輩方の補助で、自分にとっては全てが初めてで、苦労することがありましたが、先生、先輩、友人に助けられてこの一年間を乗り切ることが出来ました。来年度は本格的に自分のプロジェクトが始まります。これを成功させ、多くの農業の知識を深め、楽しさをもっと知っていきたいと考えています。資格なども積極的にとり充実した1年間を送りたいと思います。それとともに、学生会長としての役目も自分なりに果たしたいと思っています。

1年を振り返って  
農業経営研究科1学年  
佐藤和則（釧路市出身）



研究科では、疑問や問題点を解決するために、学生自ら企画し、実習しています。自家は黒毛和種の繁殖素牛生産農家で、私は個体単価が安いことから「ほ育牛・育成牛の管理の徹底～収益向上に向けて～」を課題にして実習を行いました。

実習では、自家と先進農家で育成管理技術の習得と人工授精技術の向上を主に学び、実習の後半には実際に人工授精を行い5頭中4頭が受胎しました。また、視察では色々な経営体系の牧場を視察し、今後の展望を考えることができました。来年度は、自家実習で飼養管理技術や人工授精技術を実践し、増体の良い牛を育てるとともに先進的な農家で実習し、黒毛和種に関する知識や技術を習得し、今後の自家の経営をイメージしたいです。

これから残り1年を仲間たちと楽しく有意義に過ごしていきたいです。

稲作コースに入って1年  
稲作経営専攻コース1学年  
村岡 治（滝川市出身）



私が農大稲作コースに入って、1年が経とうとしています。拓殖大学では、大学生活にも慣れ、日々講義や実習などを通じ農業の基本や応用を学んでいます。

思い返せばこの1年は、拓大で農業実習や農業実験などの専門的な実習を行ってきました。また夏休みでは滝川の花・野菜センターでの、第1期集中講義で、農業経営や農業技術などの専門的な話や、物流戦略などの普段なかなか聞けない話を聞くこともできました。また第2期集中講義でも農大の寮に寝泊まりしながら農業簿記の勉強を行い、自分のスキルアップができました。そうしている間に、1年があっという間に過ぎてしまいました。

来年度は、2年生になるにあたり、1年生でつちかった知識を基礎に、稲作の専門的な勉強をしたいと考えています。そして就農後にその知識を、少しでも役立てたいと考えています。

## トピックス 畜産経営学科



農大産の農産物を販売する「農大市」で農大牛格安販売が大好評



海外視察研修で訪れたドイツの肉牛と一緒に「はいチーズ！」



藤丸(帯広)で行われた催しで、子供達に酪農を伝える活動を実施



本別道の駅で学生が丹精込めて栽培した農産物を販売



野菜ソムリエでもあるHTBアナウンサー佐藤麻美さんが講師として農大に



海外視察研修で訪れたフランスの農業技術学校で情報交換会

## 農業経営研究科



「やくも4Hクラブ」と共に菌検査で土壌還元消毒の効果を確か



軽労化セミナー in農大で、開発者と共に筋力補助スーツ姿で記念撮影



食彩フェアで農大加工品の売り行き好調(イトコが-帯広店)



夏期集中講義で訪れた試験場の研究員による講義



2年生の体験学習は、15日間の農作業を体験



異業種研修で道外の農業について見識を広げる

発行者 北海道立農業大学校 〒089-3675 中川郡本別町西仙美里25-1 平成26年2月26日発行  
Tel 0156-24-2121(代表・総務)、2122(教務)、2700(研修) Fax 0156-24-2421(代表)  
e-mail nodai.kyomu1@pref.hokkaido.lg.jp  
URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ngd/>